



岡山県中小企業診断士会会報

一般社団法人 岡山県中小企業診断士会

2018 年 7 月 15 日発行（第 13 号）

ごあいさつ

■□代表理事・会長 安藤 覺□■



“災害お見舞い”

7 月上旬に西日本各地は未曾有の集中豪雨に見舞われました。「晴れの国」と言われる岡山県においても県内各地でかつてない規模の災害が発生いたしました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回の災害では日常の暮らしが困難になっただけでなく、工場や店舗が水に浸かったり交通網が寸断されたりで経済活動にも大きな支障が発生しています。国も今回の災害に関して被災中小企業・小規模事業者対策として「災害復旧貸付の実施」「セーフティネット保証 4 号の適用」「既往債務の返済条件緩和等の対応」「小規模企業共済災害時貸付の適用」等を実施することになりました。

我々中小企業診断士も地域の中小・小規模事業者を支える専門家として、上記施策適用の助言等可能な限りの経営支援を実施してまいりたいと思います。会員の皆様の奮闘を期待しています。

“我々に寄せられる期待”

法的な独占業務も無く、他の士業に比較して知名度も低かった我々中小企業診断士が、近年目を見張るほどの「注目」を浴びる存在となってきました。

私は昨年の総会において初めて代表理事・会長に選出されましたが、従前から当診断士会とお付き合いのあった組織・団体はもちろんのこと、今まで接触すらも無かった組織・団体から数多くのアプローチをいただきました。中小企業診断士会の力を貸していただきたいというご依頼が主ですが、この状況は今年度に入っても続いています。

中小企業診断士が経営コンサルタントとしての唯一の国家資格であり、地域の中小企業の成長戦略策定と実行支援を行うことのできる専門家であ

るという認識が広く社会に広まりつつあると感じています。今までの先輩諸氏のご努力と世の中の変化が、中小企業診断士をもっと活用していこうとする流れを作り出しているのでしょう。

創業に関しても、経営の革新や改善に関しても、人材育成に関しても、新商品・新サービスの開発や販路開拓に関しても、また事業承継や海外進出を考えている；経営者の方々からも、我々中小企業診断士にナビゲーターとして大いなる期待が寄せられています。

“会員の皆様へのお願い”

岡山県中小企業診断士会は岡山県内の中小企業診断士の、有益な情報発信基地として、切磋琢磨して資質向上を図る研修活動基地として、また具体的なビジネスの提供基地としての役割を積極的に果たしていこうとしています。執行部を形成するメンバーはその思いで先頭に立って各事業を推進しています。

会長として正会員およびプラザ会員の皆様へお願いがあります。当診断士会が今後も活発な活動を継続していくためには、何よりも会員同士の交流が大切であると考えています。フォーラム等の勉強会や研修会および自主的な研究会活動、また各種の診断士会主催イベント等にはぜひ積極的に参加していただきたいのです。そして、お酒の入る懇親会にもぜひご参加していただきたいのです。「飲みにケーション」も会員同士の交流促進には欠かせないものと考えています。

この一年当診断士会が主催する各種行事には例年以上に多くの会員に参加していただきましたが、もっと多くの会員が集い、交流し、情報交換等が活発に行われる姿にまいりたいと強く思っています。

我々中小企業診断士の活躍するフィールドは現在どんどん広がりを見せています。「あなたの街の経営コンサルタント」として、我々中小企業診断士はその期待に応え、世の中に貢献していかなくてはなりません。今後も引き続き奮闘努力してまいります。

定時総会および授与式

平成 30 年 6 月 9 日（土）15 時～17 時

場所 ピュアリティまきび

岡山市北区下石井 2-6-41

出席者数 会員総数 130 名

出席会員数 90 名（うち委任状 40 名）

会員総数の 3 分の 1 以上の会員出席で総会は成立し、議案に関し審議の結果、全員の拍手を以って承認されました。



平成 29 年度一般社団法人中小企業診断協会 会長表彰授与、20 年以上本会の会員。

川上恵三 氏 白神康信 氏 木綿一浩 氏
が授与されました。総会に白神氏がご出席でした。



新会員ご紹介

■□ 浮田 健治 □■

笠岡信用組合に勤務しております。創業と事業承継部門を主に担当しておりますが、行動はすべてに対応するマルチプレイヤーを目指しております。不動産関係と建設業関係の資格を有しておりますが錆びておりますので、入会を気にご指導いただければ幸いです。

診断士会への入会は、平成 5 年 4 月と今回で 2 回目となります。（従って入会金も 2 回目です。）経営者に寄り添った精神的なお守り、心のケアマネージャーを目指しています。

【自己 PR・得意分野】

個人的には PR するものは有りませんので、笠岡信組を PR させていただきます。

笠岡信条（経営理念）は、「地域のためにはたらしき、地域とともに発展する。」

一つ、かさしんは、郷土の皆さまのもの。

一つ、かさしんは、常に信用に生きる。

一つ、かさしんは、未来に向け前進する。

今年度 5 月福山支店開設し、16 店舗となりました。資金量は約 4,100 億円、県下金融機関において 4 番目の規模となり成長が続いております。

■□ 植野 悦次（うえのよしつぐ） □■

平成 8 年に岡山県診断士会に入会しましたが、平成 26 年にプラザ会員に移行し、それまでの正会員資格を喪失しました。今年度、2 度目の入会金を支払い会員にさせていただきました。

【自己 PR・得意分野】

中小企業の金融に長年力を注いでおりました。現在日本の景気は絶好調ですが「山高ければ谷深し」という株式の相場格言があります。必ず景気は循環しますので、危機の折には、お役に立ちたいと思います。

■□ 難波 治彦 □■

岡山のバイオメーカーに勤めた後起業し、加工食品の開発と販売をしています。

コンサルティングでは利益率と売上を伸ばす提案を心がけています。

【自己 PR・得意分野】

ダイレクトマーケティング歴 27 年です。集客からリピート促進まで、効果を計測しながら、最適な導線进行設計します。

■□ 大月 義明 □■

証券会社勤務後、ご縁があって中小企業に転職し、新規事業の実行責任者として商品開発から販路開拓まで一貫して取り組みました。

その現場で、経営者が理念もビジョンもグラグラ、計画も立てられない中、社員が振り回され、やる気をなくしていく様子を目の当たりにしました。このような状態では、経営者にとっては望んだ結果が得られないでしょうし、そこで働く社員にとっても働く充実感を味わうことが難しくなると感じました。

経営者の視界をクリアにし、そこで働く社員も同じ方向を向いて強い組織としてビジョンを達成するための助力をしていきたいと思い、昨年診断士試験を受験し、今年 4 月の登録となりました。

【自己 PR・得意分野】

大学で専攻した社会心理学や、証券営業で鍵となる「お客様との心の絆（信頼関係）構築」による固定客化の経験を活かしたいと思います。小手先のマーケティングによる対症療法ではなく、本質を追求し持続的な優位性が構築できるような戦略を、経営者と共に策定し、組織にやる気と希望をもたらせるコンサルタントを目指したいと思います。

■□ 菊田 浩典 □■

大学卒業後、創業者一族として、サービス業を営んでいます。現場レベルでの接客を経験し、本社勤務になってからは財務諸表の作成や経営の意思決定に携わっています。

【自己 PR・得意分野】

経営と現場レベルの両方の意識を持って、業務に取り組むことを信条としています。

■□ 川崎 悟史 □■（プラザ会員）

昨年の9月に登録されました新人診断士で、岡山県産業振興財団に勤めています。

財団ではこれまで、取引支援、設備導入支援などに携わってきました。

【自己 PR・得意分野】

特定の得意分野はまだありませんが、創業や経営革新など事業計画の作成の支援に興味があります。企業の皆様に寄り添った支援をするよう邁進してまいります。

診断士フォーラム

◇◆5月フォーラム 5/13(日)◆◇

テーマ

就労継続支援 A 型事業所の経営診断
～平成 29 年度実績報告と情報交換会～

講師

就労継続支援 A 型事業所診断者
司会：松本専務理事

内容

平成 29 年度に岡山県・岡山市の依頼のもと就労支援 A 型事業所の経営診断を実施しました。

今年度も診断実施の継続が予定されていることから、これまでの診断実績や同事業所の現状をご報告するとともに、診断にあたっての課題を共有し、A 型事業所支援のレベルアップを図りました。

◇◆7月フォーラム 7/22(日)予定◆◇

テーマ

「どうする我が社の人材確保 リージョン推奨メソッド」

講師

リージョン株式会社 代表取締役 森本 将行 様

内容

1. 現状の採用環境
 2. 人手不足に対する国や企業の動き
 3. 求職者側の行動と意識変化
 4. 今後の中小企業の取り組み
- などについて講話をしていただきます。

☆今後のフォーラム予定

H30/1/13, 3/10

フォーラムで発表等、ご希望の方は、事務局までご相談ください。

診断士の日 記念イベント(予定)

中小企業診断士の日記念事業として、セミナー及び交流会を開催予定となっております。

今年度は岡山県中小企業診断士会独自開催となります。

○演 題：『知って！使って！中小企業診断士』
お役立ちセミナー＋異業種交流会

○日 時：11 月 6 日（水）15：00～20：10
（開場 14：30～）

○会 場：ピュアリティまきび
（岡山市北区下石井 2 丁目 6-41）

○定 員：50～70 名予定

○交流会参加費：4,000 円/人

○対象者：中小企業診断士、中小企業経営者等、
支援機関（県市を含む）・金融機関の中
小企業支援担当者、他士業

○内 容

第一部（お役立ちセミナー）

●基調セミナー

「中小企業支援メニューの紹介」

●診断士のトリセツその 1

「創業～成長期編：成長カーブを実現する！
各種補助金と診断士の活用方法」

●診断士のトリセツその 2

「成熟～革新期編：さらなる成長を図る！
経営革新と診断士の活用方法」

●診断士のトリセツその3

「衰退～再生期編：経営危機から復活する！
経営改善と診断士の活用方法」

第二部（異業種交流会）

- ・会費制(4,000円)の懇親会
- ・第二部からの参加も可能

受託事業等

◇◆岡山県信用保証協会受託事業◆◇

岡山県中小企業診断士会と岡山県信用保証協会は、昨年度に引き続き平成30年度『業務協定に関する覚書』を締結し、「岡山経営安定サポート2018事業」を実施することとなりました。

予算規模も実施内容もほぼ昨年同様ですが、昨年度にあった1日コース（ベーシックコース）が無くなり、代わりに4日コース（事業価値向上コース）が新しく創設されました。

昨年度の専門家派遣事業先の企業アンケートでは、診断士の助言や対応に関する満足度は非常に高いものでした。これは受診した診断士一人ひとりが真摯に対応した結果だと思えます。

今年も地域の中小零細企業のお役に立てるよう一層の奮闘努力をお願いいたします。

派遣先企業の業種や経営課題を踏まえ、昨年度と同様、多くの会員診断士に受診いただけるよう配慮してまいりますのでよろしくお願いいたします。

◇◆その他事業について◆◇

岡山市、倉敷市、新見市、岡山県生活衛生営業指導センターと提携し経営相談事業を行います。

赤磐市の窓口相談は今年度も引き続き実施いたします。

岡山市中小企業支援事業補助金事業評価、岡山県就労継続支援A型事業所経営診断及び経営改善計画策定支援する予定です。

無料相談事業

◇◆しんきん合同ビジネス交流会◆◇

平成30年9月12日（水）10時～16時
コンベックス岡山にて無料相談を開催いたします。
相談員を2名募集する予定です。



第37回 親睦ゴルフ大会

岡山自由業団体連絡協議会親睦ゴルフ大会開催

日時：平成30年7月21日（土）9:00～

場所：山陽ゴルフ倶楽部

赤磐市平山428番地

当士会からは3名の方が参加する予定となっております。

士業連携フォーラム

◇◆第7回士業連携フォーラム◆◇

（主催：岡山自由業団体連絡協議会）

日時：平成30年9月21日（金）

18時～20時30分

会場：ピュアリティまきび

（岡山市北区下石井2丁目6-41）

会費：6,000円

内容

士業間の垣根を越えて積極的な情報交換・名刺交換を行い、知り合いの輪を広げることができるよう、懇親会をメインに計画しております。

多くの会員の方のご参加をお待ちしております。

平成30年度 海外視察研修

◇◆海外視察事業・台湾視察報告◆◇

平成30年6月21日（木）～24日（日）の4日間、研修委員会の海外視察事業として、台湾を視察してまいりました。（参加者：太田、栗原、佐藤、津田、中原、松本の計6名）

海外視察事業の目的は、(1)岡山県下中小企業の台湾進出の可能性を探る。(2)中小企業診断士として、海外進出支援、台湾進出支援のスキルアップを図る。(3)日常触れられない日本以外の文化、経済を直に見聞することで、新たなインスピレーションを生む、を掲げました。

視察は、渡台2日目の6月22日（金）に実施いたしました。

【10:00～11:10】



公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所を訪問しました。

台湾と日本は国交がないため、大使館もJETROありません。それを代替する機能として、「公益財団法人日本台湾交流協会」が存在しています。

経済部主任の相馬様より、「最新台湾概況」と題して台湾経済事情、日本企業進出の最新動向などをお聞かせいただき、質疑応答をいたしました。台湾からの訪日客が年間 460 万人なのに比べて、日本からの訪台客は年間 190 万人。台湾人口は 2,357 万人ですから、本当に多くの方が日本を訪れていることが分かります。

また、「Facebook、LINEなど、SNSでの情報発信、情報交換が好きである」「日本語を話せる台湾人がかなり減少している」「台湾人はコスパ重視」「外食メインで自炊しない傾向にある」「兼業が自由である」「2010 年以降、日本から多くの飲食業が進出している」「2040 年にガソリン車、ディーゼル車の販売禁止を計画している」などのお話も伺いました。



【11:45～12:50】

国立交通大学経営管理研究所兼任助理教授の曾博士と合流し、午後の新北市府との情報交換会に向けた事前打ち合わせ（ランチョンミーティング）を行いました。

【13:00～15:00】

新北市政府を訪問しました。



新北市経済發展局招商科の鐘科長（日本でいう部長）、黄股長（日本でいう課長）、台日産業推動中心の林組長他、と面会し、下記の次第に沿って情報交換を行いました。

(1) 新北市の一般経済事情について（新北市政府よりご紹介）

(2) 新北市の中小企業支援政策について（新北市政府よりご紹介）

(3) 岡山県の中小企業支援施策について（診断士会より紹介）



(4) 国家資格である中小企業診断士について（診断士会より紹介）

(5) 今後の相互交流についてディスカッション
台湾には、中小企業診断士制度は存在しておらず、また、台湾でも日本と同じく中小企業は資金面で課題を抱えており、中小企業診断士という資格にたいへん関心を持たれておられました。



【15:50～16:30】

日本から出店している台湾アンテナショップ「MiCHi cafe」を訪問しました。訪問当日、MiCHi cafeは東広島市の展示会の最中であり、地元の日本酒の試飲が出来るイベントを開催中で、大勢のメディア関係者で賑わっていました。

岡山からの出展、展示の可能性も感じさせられました。



【17:00～18:00】

岡山から台湾への進出企業である㈱ベネッセコーポレーション台北支社を訪問しました。(1) 台北での事業・業務について、(2) 日本と台湾の違い、そのために事業・業務上配慮・苦心していること、(3) 「このような会社は台湾で失敗する」「このような日本人が台湾での仕事に向いている」、などについてヒアリングをしました。

「日本と台湾の文化／労働法制的の違い」「台湾での労務や苦労」「台湾も少子化が進んでいること」、などお伺いしました。



【18:30～21:00】

元㈱ベネッセコーポレーション台北支社長で、台湾で起業されたウィルキューブコーポレーション馬岡孝行様を交えた懇親会を開催しました。台湾での起業のきっかけ、その後のビジネス展開などについて、お話いただきました。



【その他】

台北視察の翌日は、「新たなインスピレーションを生み出す」きっかけ作りの1日としました。

初めて台北を訪れた参加者もおられましたので、台北のメジャー観光スポット（台北101→行天宮→故宮博物院→中正記念堂）を中心に視察しました。また、観光客向けではなさそうな地元料理の店として、セルフ火鍋の店、行列のできる魯肉飯（ルーローファン）の店なども視察しました。



【まとめ】

参加者には、今回の視察事業で「久しぶりに海外に行く」という方もおられ、異文化との遭遇に驚きながら、新たなインスピレーションを生み出したものと確信しております。

また、「視察の最初に日本台湾交流協会台湾経済事情の情報を得る→政府や企業、観光地を訪問する」という流れで進めたおかげで、台湾の文化・経済への理解がたいへん深まりやすかったです。

次回の海外視察事業では、今回生まれた交流をさらに深めるものとするか、また新たな訪問先を発掘するかは未定ではございますが、「引き続き今後も海外での学びの機会を継続していきたい」との研修委員会、参加者の強い思いを感じました。

（文責：太田記生）



研究会事業の活動

●○地域活性化研究会○●

地域活性化の切り札とされるインバウンドですが、なかでも近年、注目を集めているのがクルーズ船による訪日外国人の誘致です。昨年の訪日クルーズ旅客数は253万人。国土交通省では2020年に500万人の目標を掲げています。こうしたなか、当会では宇野港へのクルーズ船誘致による玉野市の中心地活性化、さらには県内各地への波及効果の可能性を検証いたします。現在、関連団体等にヒアリングを行っており、今後は中四国地方の先進地事例の視察を計画しています。

●○ものづくり研究会○●

平成30年度は基盤固め2年目にあたり、平成29年度の実績をベースとしてステップアップを図っていきます。具体的には、4月には、リストアップした診断実施候補企業の中からT社様、O社様への工場見学を実施いたしました。6月からはS社の本診断・経営改善に進めて行くことになっております。

また、これら活動は経営ノウハウ・現場改善の書籍へとの話もあり、先端潮流も見極めつつ、順次実績を積み重ね、中小企業の経営支援を行う体系的かつ力点を抑えた実証ノウハウ集として、整備していきます。

●○循環ビジネス研究会○●

循環ビジネス研究会は岡山県等の産業廃棄物業診断を真摯に行うとともに、そのための知識の補充として視察を計画しています。視察先としては廃棄物のリサイクルを主に考えています。例えば、従来リサイクルが行われていなかった住宅用窓ガラス等のリサイクル先の視察を考えています。

会員の消息

<退会>

谷許祐太氏 藤井愛也氏 山本督憲氏
田口博司氏 上杉雅弘氏

<新会員>

大月義明氏 難波治彦氏 植野悦次氏
浮田健治氏 菊田浩典氏

会員紹介

今号より会員の皆さんを紹介いたします。今回は「広報委員会」の3名です。当会のチラシ更改に尽力いただきました。

■□太田記生(おおた ふみお) □■



私はITコンサルティングを専門分野にしております。

ITコンサルティングの中でも最も得意にしている分野は「中小企業の基幹システム導入・更改プロジェクトサポート」です。昨年『中小企業の基幹システム導入・更改 成功への道』

も出版しました。

基幹システム、例えば生産管理システム、販売管理システム、在庫管理システムなど「このシステムがなくなったら業務が止まってしまう」ような企業の中核となるシステムの導入・更改と、それに伴う業務の見直し、業務効率化支援を行っております。基幹システム更改は失敗したら業務が止まります。基幹システムは「会社の命」ですので、私は大きな責任とやり甲斐を感じつつこの仕事に取り組んでおります。

趣味は、ゴルフと海外旅行です。家族は、妻、3歳の長男と4月に生まれた長女の4人家族です。ゴルフはまだまだ初心者です。海外は、自己啓発のため、短期間であっても、最低年1回は行くようにしています。スカイプでの英会話レッスンも2年以上続けており、海外も絡めた仕事に拡大発展させていくことがこれからのビジネス目標です。

■□大西 修(おおにし おさむ) □■



独立して4年目です。今年から、ほぼフリーの形で活動しています。最初はどうか不安でしたが、日々、なるべく多くの経営者と接する機会を持つように心掛けていると仕事は頂けるものです。

専門は経営改善です。

銀行勤務時代は再生企業へ派遣された経験もあります。業況が悪化している会社は概ね例外なく、指揮系統が乱れています。経営者とスタッフのコミュニケーションを修繕した途端に収益が上がったケースもあります。

趣味はマラソンです。11月のおかやまマラソンにも運よく当選し、初回から4回連続の出場となります。また、県が行っている婚活サポートのボランティアもしています。独身会員の方、遠慮なくご相談ください。

■□藤井 正徳(ふじい まさのり) □■



資金繰りに窮した企業の経営改善を主軸として、商工会議所・商工会等の窓口相談や専門家派遣、セミナー講師等に対応しています。

私はもともと岡山県出身ではなく、人脈ゼロ・経験ゼロ・資金ほぼゼロの状態から、今思えば本当に無鉄砲な創業

でした。創業当初の唯一の武器であった「情熱」と「論理的思考」はそのままに、「経験と実績」を重ねることでよりよいコンサルティングサービスが提供できるよう日々研鑽に励んでいます。

現時点ではまだまだ体力勝負、「趣味＝仕事」の状態が続きますが、溺愛する2人の娘の寝顔がなによりの癒しになっています。萩・魅力PR大使（山口県萩市公認）としても地味に活動しています。夏の旅行に、ぜひおいでませ♪

平成 30 年度 年間スケジュール

4月	4/8 執行部会	ゆうあいセンター
5月	5/13 フォーラム	ゆうあいセンター
6月	6/9 総会 6/10 執行部会 6/21～24 海外視察	ピュアリティまきび ゆうあいセンター 台湾・台北
7月	7/22 フォーラム	ゆうあいセンター
8月	8/5 執行部会	ゆうあいセンター
9月	9/8 登録更新研修会	岡山コンベンションセンター
10月	10/14 執行部会	ゆうあいセンター
11月	11/6 診断士の日記念事業	ピュアリティまきび
12月	12/2 執行部会	ゆうあいセンター
1月	1/13 フォーラム 新年会	ピュアリティまきび 予定
2月	2/10 執行部会	ゆうあいセンター
3月	3/10 フォーラム	ゆうあいセンター



岡山城

事務局だより

◆理論政策更新研修

理論政策更新研修（4時間の研修）は、更新要件のひとつである「新しい知識の補充に関する要件」として実施する研修です。本研修は、登録有効期間5年間で5回修了することが必要です。

下記の通り実施いたします。

日程：平成30年9月8日（土）

12時50分～17時00分

場所：岡山コンベンションセンターレセプションホール

申込期間：平成30年7月1日～8月27日

研修受講料：6,000円

岡山県診断士会会報 第13号

平成30年7月15日 発行

一般社団法人岡山県中小企業診断士会

〒700-0907 岡山北区厚生町3-1-15

岡山商工会議所ビル8F

Tel 086-225-4552 Fax 086-225-4554

発行人 会長 安藤 覺

編集人 専務理事 松本直也

